

臼杵市

# 都市計画 マスタープラン

(概要版)



令和3年(2021年)3月



臼杵市  
USUKI CITY

# 1 都市計画マスタープランを改定するにあたって

臼杵市都市計画マスタープランは、令和22年（2040年）を目標として臼杵市の目指すべき将来の都市像やまちづくりのあり方を示すとともに、各地域においても将来像をもうけ、その実現に向けて、防災、土地利用、道路、公園、下水道等の都市施設に関する方針を定めたものです。

近年、大規模地震、津波、土砂災害といった自然災害による被害が想定され、これらに対応し、自然災害に対して強いまちをつくることが最重要事項となっています。

また、人口減少や少子高齢化による様々な課題に対応することが必要となっています。

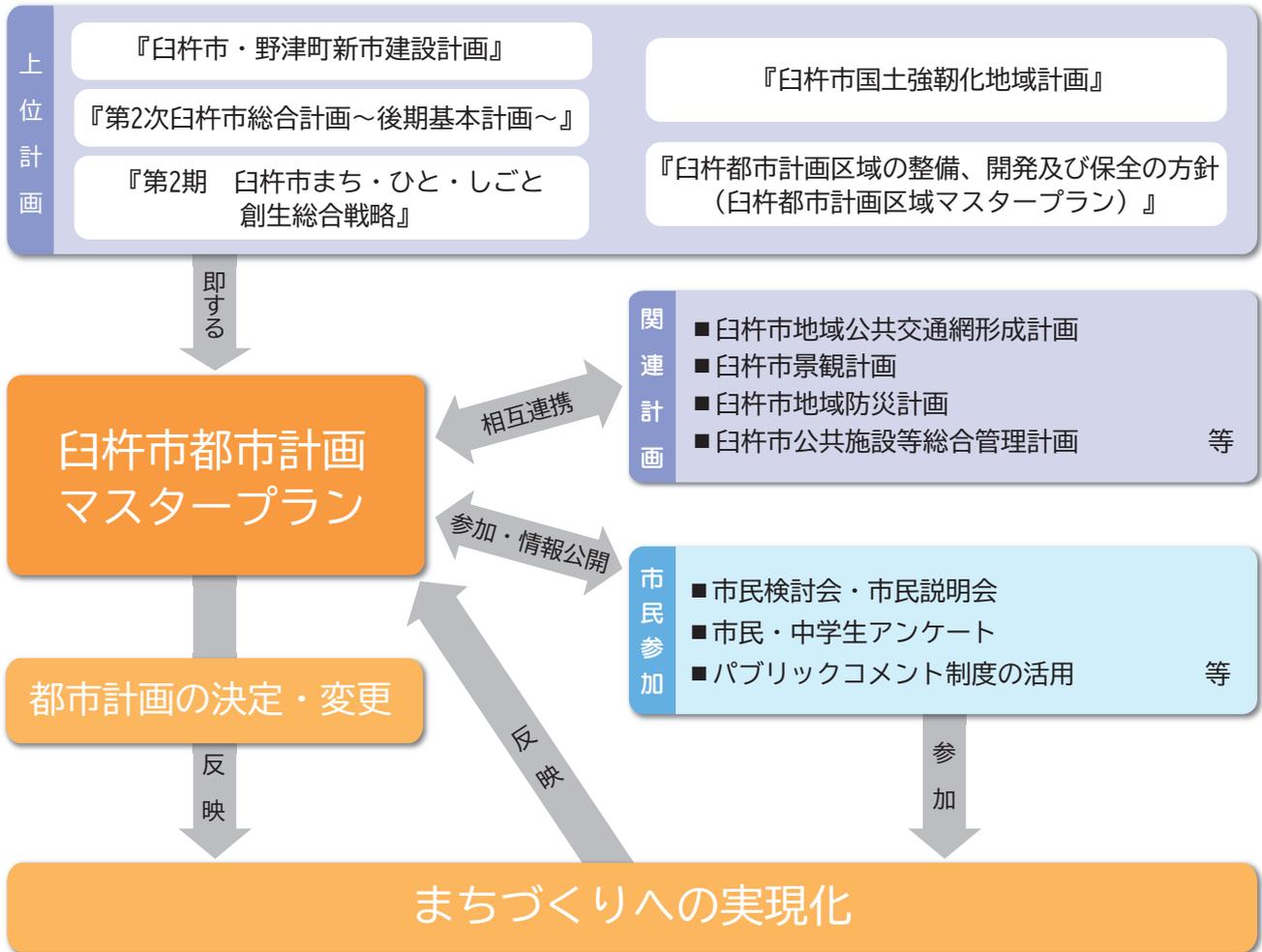
これらの状況を踏まえて、平成20年（2008年）12月に策定した「臼杵市都市計画マスタープラン」を見直すこととし、市民・中学生アンケート、市民検討会、市民説明会等の実施や開催を通して、得られた意見を反映し、長期的なまちづくりの方向性を示した「臼杵市都市計画マスタープラン（改定版）」（以降は本計画と呼ぶ）を策定しました。

## 臼杵市都市計画マスタープランの主要な改定の目的

- ①人口減少・少子高齢化に対応した都市づくりの方向性の見直し（基本理念・基本方針、拠点づくり、連携軸など）
- ②災害に強い都市づくりに向けた施策の見直し（地震・津波対策、水害・土砂災害対策、火災対策、避難対策、事前復興対策など）



## 2 位置づけと役割



### ① 都市づくりの将来像の明確化

これからのまちづくりにおける課題・方針・将来像を明らかにし、まちづくりの実現化を目指します。

### ② 都市計画の基本的な指針

都市計画を決定又は変更する際の指針となり、市全体のまちづくりに関する計画、事業、施策の全体調整を図ります。

### ③ 市民・事業者・行政の協働によるまちづくり

都市計画をわかりやすく示すことで、市民・事業者・行政の話し合いを円滑に進め、まちづくりを促進する役割があります。

## 3 対象区域

白杵市全域を対象とします。

## 4 目標年次

本計画の目標年次は、概ね20年後のまちづくりを目指すため、令和22年（2040年）とします。

# 5 課題・基本理念・基本方針

## 都市づくりの基本理念

### 活力と魅力をみんなで育み、居心地の良さを実感できる都市づくり

#### 臼杵市が直面するまちづくりの課題

##### 1. 住環境の魅力を向上させる必要性

- 空き家・空き地等の低・未利用地の増加による「都市のスポンジ化」の進行
- 若い世代の市外への流出
- 病院・福祉施設・公共交通の利便性等へのニーズ
- 魅力の高い住環境の形成や地域コミュニティの維持 等

##### 2. 自然災害に対応し、都市の安全性を向上させる必要性

- 城下町や漁村集落等の密集市街地は地震や火災に対して脆弱
- 水害や土砂災害の危険性の高いエリア、道路寸断時には孤立してしまう山村部・半島部などにおける災害危険性軽減に向けたハード・ソフト面の対応
- 南海トラフ・中央構造断層帯等による地震・津波被害の想定
- 洪水や浸水への対策や災害時における的確な情報提供等へのニーズ 等

##### 3. 人々の移動や快適性を向上させる必要性

- 臼杵港から臼杵インターチェンジ間の道路の交通渋滞、臼杵港新埠頭の整備に伴う交通処理方法の検討など道路ネットワークの改善
- 公共交通機関の廃止・減便等への対応、利便性向上と利用者増加
- 都市公園の既存ストックの活用 等

##### 4. 臼杵の良さを再発見し、活用する必要性

- 来訪者が感じる臼杵の魅力など「臼杵らしさ」の再発見
- 市民が集う場の拠点形成など様々な観光への取組
- 商業は商店街と郊外店舗のそれぞれの長所の活用、工業は造船業・醸造業等の臼杵らしさのある産業の発展や新たな企業誘致、農林漁業は後継者確保や経営の健全化 等

##### 5. 本格的な住民参加によるまちづくりを展開する必要性

- 行政が主体となった計画策定や事業実施に対する住民参画
- 様々な団体や組織が活動してきたノウハウ等を活かしたまちづくり 等

## 将来目標人口

2040年の将来目標人口 31,600人

### 都市づくりの基本方針

快適

#### 1 住みやすい・住みたいと感じ、幸せが実感できるまちづくり

- 若い世代の定住と他都市からの移住促進
- 医療・福祉・子育てなどに関連する施設等の機能充実、バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮した高齢者が暮らしやすいまちづくりの推進
- 居住や都市機能の誘導・集積することによるコンパクトで持続可能なまちづくりの推進
- 空き家、空き地などの低・未利用地等の利活用
- 人々が憩い集う地域の拠点づくり等による地域コミュニティの形成

等

安全

#### 2 防災・減災対策の充実したまちづくり

- ハード面は、道路・公園・下水道等の都市基盤施設の整備・強化、津波・河川浸水・土砂災害など災害リスクの高いエリアの防災対策の強化
- ソフト面は、防災拠点の機能充実や総合的な防災支援を図るための体制づくり、身近な避難場所や避難経路の確保、住民・事業者・行政等の連携による安全で安心できる環境づくり

等

便利

#### 3 都市基盤が整った利便性が高いまちづくり

- 臼杵港から臼杵インターチェンジ間の交通アクセスの確立、交通混雑の解消に向けた取組みの推進
- 公共交通機関の運行水準の適正化、交通施設の整備充実、次世代の多様な交通の活用など持続可能な公共交通ネットワークの確立
- 拠点となる公園の公園施設の機能拡充や継続的な維持管理、身近な公園の整備・確保・機能拡充

等

活力

#### 4 臼杵の魅力を創出し、地域の魅力を築くまちづくり

- 市民が集い交流する場となる観光や交流の拠点づくりの推進による地域活性化
- 観光資源・景観資源・地場産業・地域産品等を活用することで、新たな臼杵らしさを再発見し魅力を高めるとともに、他市町村と連携し、臼杵市への来訪者と市民の方々との交流促進
- 産業の担い手確保、市内産業の活性化、産業空間を結ぶネットワークの強化による産業間の連携、産業用地の創出による新たな優良企業の誘致

等

参加

#### 5 多様な主体が参画し、地域や地区をつくるまちづくり

- 自分たちの地域の「暮らしやすさ」を向上するためには何が必要か検討し、官民協働によるまちづくりのなかで実現
- 住民主体のまちづくりが円滑に行われるような制度・体制を確立

等

# 将来都市構造

臼杵市街地核・野津市街地核や、交流拠点や防災拠点等の拠点、これらを連携する連携軸からなる都市構造を目指します。



## 市街地核

臼杵市街地・野津市街地には、住民の生活に必要な行政機能、商業・業務機能が集積する「市街地核」を位置づけ、この市街地核を中心として歩いて暮らせるまちづくりを進めていきます。また、空き家、空き地等の低・未利用地を利活用し、魅力を創出することにより地域活性化を目指します。

臼杵市街地核は、二王座地区や県史跡臼杵城跡をはじめとする観光施設への回遊性を重視し、観光客にとっても歩きやすいまちづくりを進めていきます。

野津市街地核は、周辺の文化財等と連携を図りながら、地域の活性化を図る市街地核を目指します。



## 交流拠点

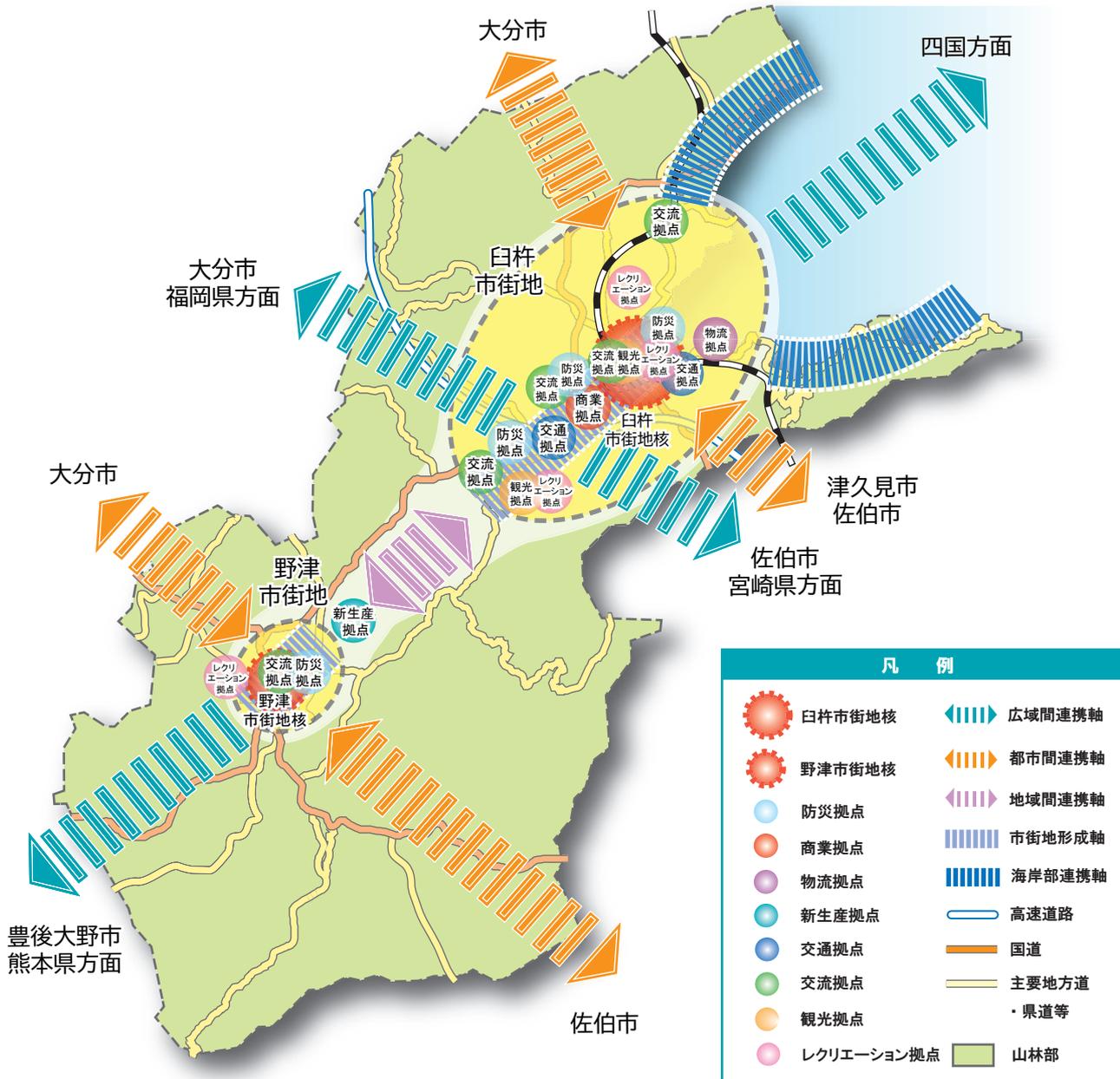
市民が集い交流する場を「交流拠点」として位置づけ、地域内コミュニティの形成、災害時の避難場所、情報発信の場としての役割を担います。

また、交流拠点では、立地特性や地域のニーズに応じて、経済・観光・福祉・情報発信機能を導入し、地域間交流による賑わい空間の創出を図ります。



## 防災拠点

庁舎、消防署、コミュニティセンター等を「防災拠点」として位置づけ、災害予防・応急・復旧・復興の拠点として、市民の方の安全・安心の確保に向けて、災害に強い施設や体制づくりを推進します。



## 都市防災の方針

地震、津波、水害、土砂災害、火災等の災害に備えて、避難対策、復興事前準備を含めた、ハード・ソフトの両面から災害に強いまちづくりを進めます。

- 1 防災・減災に向けた都市施設等の整備推進
- 2 安全・安心を実現する居住地づくり
- 3 避難場所・避難路の整備・確保
- 4 住民・関係機関・行政等が連携した防災対策の推進



臼杵公園ループ橋 避難訓練

## 土地利用の方針

臼杵市の自然と歴史を守りつつも、今後、コンパクトで持続可能で強靱な都市構造へと再編を図りつつ、地域活性化に寄与する土地利用を実現します。また、土地利用の誘導、計画的な土地利用の形成、交流拠点の形成等を行います。

- 1 自然と調和したコンパクトな市街地の形成
- 2 臼杵市の特性を残す土地利用の維持
- 3 生活を支える都市機能・産業機能の計画的な配置



八町大路



サーラ・デ・うすき

## 交通体系の整備方針

自動車を利用する生活が定着する一方で、交通渋滞の緩和、地球規模の環境問題への対応という観点から、公共交通機関の利用促進、自家用車を利用できない高齢者等の移動手段の確保を図ります。

また、港湾については、臼杵港新埠頭整備に併せ、四国方面との連携強化及び交流促進、観光機能の強化、公共交通機関の乗り継ぎの強化を図ります。

- 1 広域間・地域間・拠点間連携の推進
- 2 市街地内の交通混雑の解消
- 3 利便性が高く安全・快適に過ごせる道路・歩行者空間の形成
- 4 環境に配慮した交通まちづくりの推進



路線バス

## 公園緑地整備と自然環境保全の方針

既存の公園や市街地内に残された緑地、オープンスペースを活用しつつ、利用しやすさや魅力づくり、災害時の防災機能等の面でさらなる改善を図り、住民の利用ニーズや地域特性を踏まえて、公園施設や機能の充実を図ります。また、生物の生育生息環境となる自然環境の保全を図るとともに、市民の憩いやレクリエーションの空間としての機能維持に努めます。

- 1 拠点となる公園の整備推進と身近な公園の充実・確保
- 2 地域や住民のニーズに合った公園の維持・活用
- 3 緑・水・生物の豊かさを維持できるまちづくり



臼杵市総合公園

## 下水道の整備方針

市民の快適で衛生的な生活環境を支え、水質汚濁などの環境悪化を防止することが必要です。そこで、公共下水道計画区域内の未普及地域における整備促進や、自然災害への対応を図るため処理場・管路の更新等を行います。

また、その他の地域では農業集落排水施設整備や合併処理浄化槽の普及拡大を図ります。

- 1 将来の市街地の規模に応じた下水道整備の推進
- 2 地域特性に応じた下水道整備の推進
- 3 水洗化率の向上促進
- 4 下水道施設の安全性の確保



臼杵市終末処理場

## 都市景観の形成方針

市民と行政等の協働によって、城下町らしい由緒ある町なみや、臼杵石仏や石橋をはじめとする歴史文化資源、豊かな緑や変化に富んだ美しい海岸、田園景観をまもり、魅力ある良好な景観形成を進めていきます。

- 1 自然豊かなふるさとの景観をまもり、育てる
- 2 歴史・文化などふるさとの景観をまもり、活かす
- 3 市街地の特色を生かした魅力あるふるさとの景観をつくる
- 4 景観拠点や景観軸を活かしたふるさとの景観ネットワークをつくる
- 5 みんなで協力してふるさとの景観をつくる



うすき竹宵

# 6 地域別構想

## 臼杵北部地域

### ■ 臼杵北部地域の将来像

○リアス式海岸沿いに市街地・集落が点在する臼杵北部地域は、内陸部を通る幹線道路によって連絡される構造となっていますが、今後は、海岸に沿った連携軸の強化を図ることにより、海に面して一体性を持つような地域構造を目指します。

将来像

『美しい海岸風景が人々・地域をつなぐ、憩い癒されるまち』

### ■ 臼杵北部地域のまちづくり方針

≪ 臼杵北部地域の整備方針図 ≫



# 臼杵中部地域

## ■ 臼杵中部地域の将来像

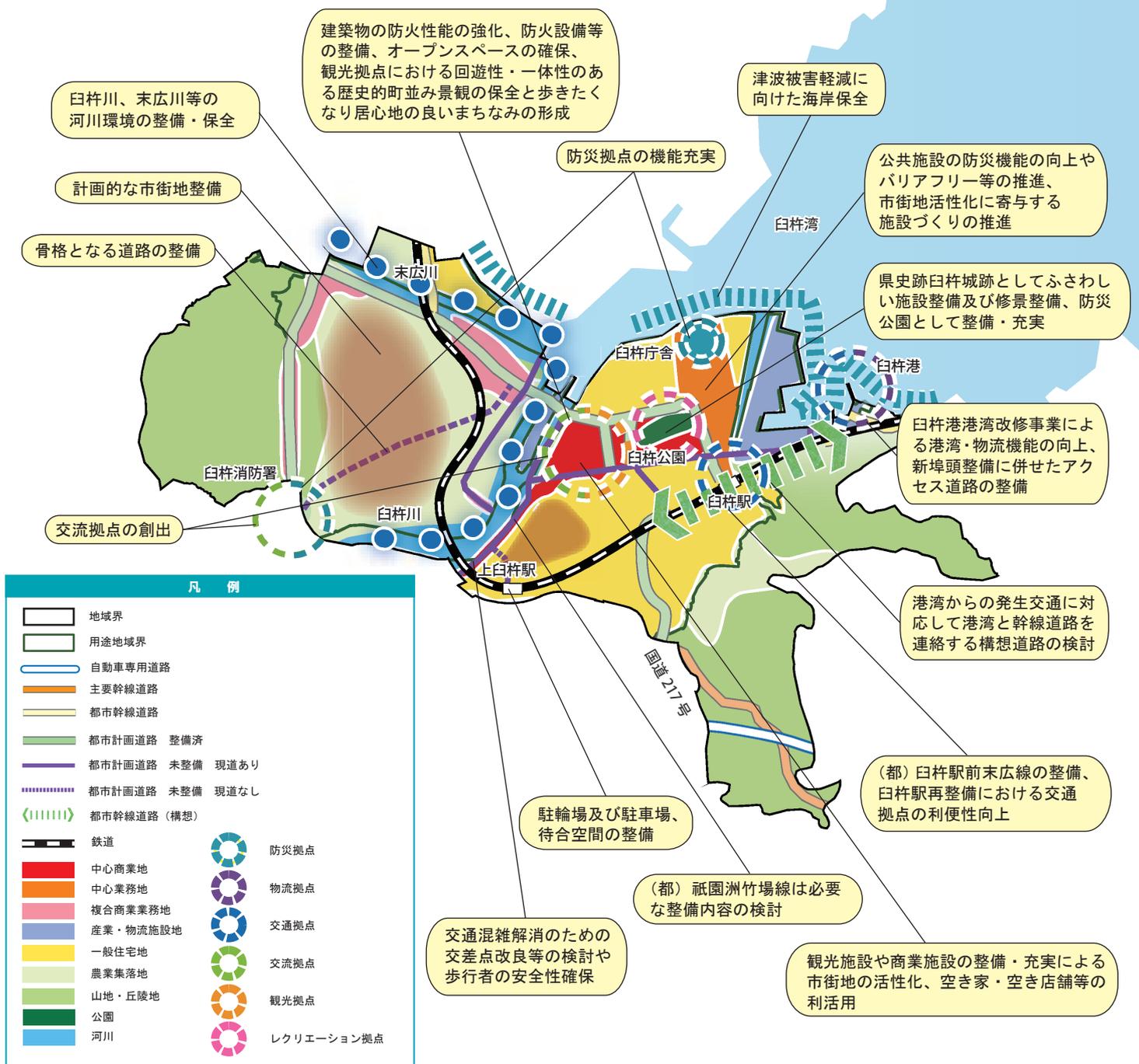
○ 臼杵中部地域は、臼杵庁舎をはじめとする公共施設が集積する市街地であり、多くの歴史的建築物が建ち並び城下町です。このような地域特性を踏まえつつ、鉄道駅等の交通利便性を利用した「城下町」を活かすまちづくりを進めるとともに、本市の中心部への都市機能の集積を図り、周辺地域と連携した都市構造の形成を目指します。

### 将来像

『城下町の歴史を未来に引き継ぐ、都市機能が集積したまち』

## ■ 臼杵中部地域のまちづくり方針

≪ 臼杵中部地域の整備方針図 ≫





# 野津地域

## ■野津地域の将来像

○のどかな田園地帯を中心とする野津地域は、市街地・集落地が幹線道路沿道や中山間地に点在する構造となっていますが、今後は、野津庁舎周辺の公共施設や商業施設等の持つ拠点性を高めることにより、地域内の歴史資源や観光資源へと回遊させるような地域構造を目指します。

### 将来像

『自然の豊かさを感じる田園や歴史ある資源を活かした、来訪者が訪れたいまち』

## ■野津地域のまちづくり方針

### ≪野津地域の整備方針図≫



凡 例			
地域界	一般住宅地	防災拠点	交流拠点
主要幹線道路	農業集落地	新生産拠点	レクリエーション拠点
都市幹線道路	山地・丘陵地	公園	地域資源
中心業務地	河川		
複合商業業務地			
産業・物流施設地			

# 7 実現化方策

## 1 都市計画の決定又は変更に向けて

住みやすい安全な住環境の形成を図るため、都市計画法等に基づき適切な土地利用の誘導を検討するとともに、都市計画道路の整備、交差点改良等を推進します。また、景観計画に基づいて歴史的建築物の保全、景観形成を図ります。

## 2 住民主体のまちづくりに向けて

都市計画マスタープランやまちづくり等に関する情報発信を行います。また、まちづくりの検討等へ住民が主体的に参加できる機会を創出し、まちづくりリーダーの発掘・育成、企業・NPOなどとの連携を図りながら、住民主体のまちづくりを進めます。

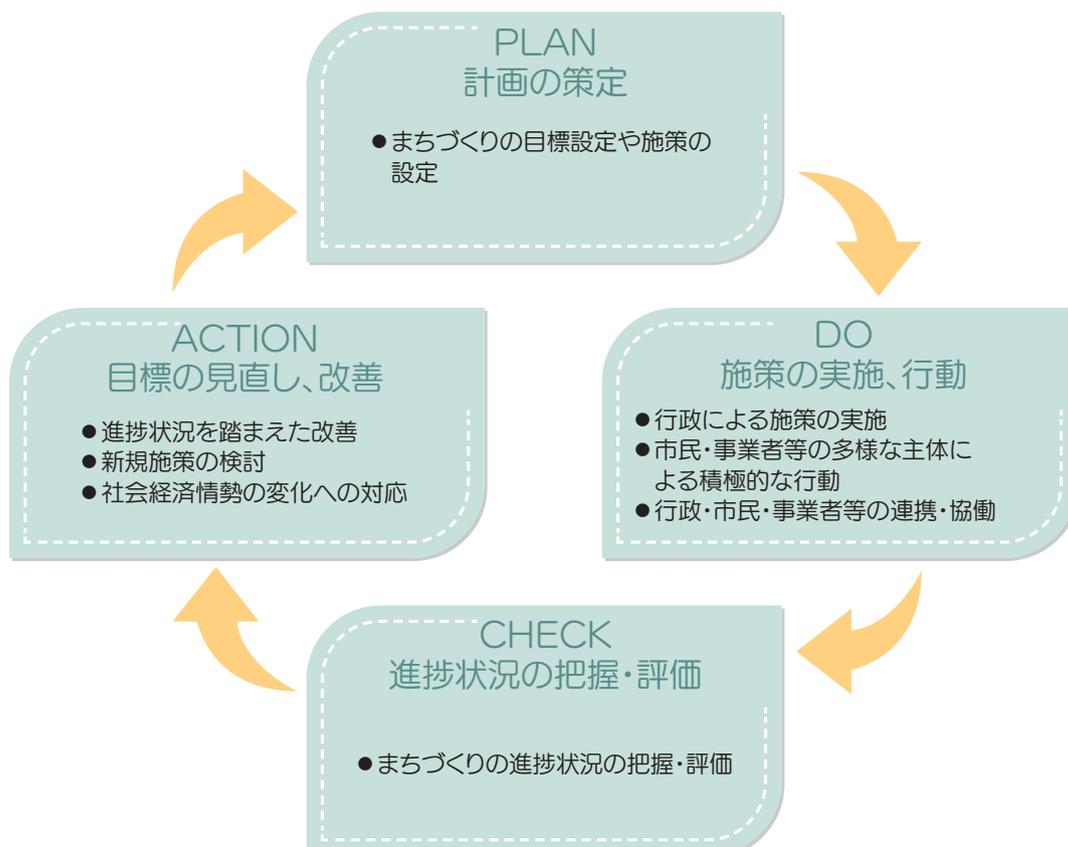


サーラ・デ・うすき  
にぎわい広場

## 3 都市計画マスタープランの推進

都市計画マスタープランの都市づくりの目標を達成するために、本計画で策定した施策の取組み状況を把握・検証し、必要に応じて見直しを図ることにより、PDCAサイクルを計画的に運用し、計画の進行を把握します。

### ■都市計画マスタープランのPDCAサイクル





臼杵市都市計画マスタープラン  
臼杵市 都市デザイン課  
〒875-8501 臼杵市大字臼杵72番1